

CASBEE-新築(簡易版)2010年版
 (住宅型)有科老人ホーム 春風

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010
 評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.7
Q1 室内環境			0.40			2.9
1 音環境		2.6	0.15	2.2	1.00	2.4
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40	
1.1.1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00	
2 設備騒音対策		-	-	-	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	2.2	0.40	
1.2.1 開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30	
1.2.2 界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30	
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	1.0	0.20	
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	1.0	0.20	
1.3 吸音		1.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境		2.1	0.35	2.0	1.00	2.1
2.1 室温制御		3.3	0.50	3.0	0.50	
2.1.1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57	
2.1.2 負荷変動・遅延制御性		-	-	-	-	
2.1.3 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43	
2.1.4 ゾーン別制御性	共有部はゾーン別に複数室内器あり、居室は単独にエアコンあり	4.0	0.38	-	-	
2.1.5 温度・湿度制御		-	-	-	-	
2.1.6 個別制御		-	-	-	-	
2.1.7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-	
2.1.8 監視システム		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式		1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境		3.2	0.25	3.5	1.00	3.3
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.2	0.30	
3.1.1 昼光率	共用部3.71%、居室2.98%	5.0	0.60	5.0	0.60	
3.1.2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3.1.3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30	
3.2.1 照明器具のグレア		-	-	-	-	
3.2.2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00	
3.2.3 映り込み対策		-	-	-	-	
3.3 照度		2.0	0.15	1.0	0.15	
3.4 照明制御		3.0	0.25	5.0	0.25	
4 空気環境		3.7	0.25	4.2	1.00	3.8
4.1 発生源対策		5.0	0.50	5.0	0.63	
4.1.1 化学汚染物質	下地含む内装材料は全てF _{☆☆☆☆} 、規制対象外の材料を使用	5.0	1.00	5.0	1.00	
4.1.2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.1.3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	
4.1.4 レジオネラ対策		-	-	-	-	
4.2 換気		2.0	0.30	3.0	0.38	
4.2.1 換気量		3.0	0.50	4.0	0.33	
4.2.2 自然換気性能		3.0	-	4.0	0.33	
4.2.3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	1.0	0.33	
4.2.4 給気計画		-	-	-	-	
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-	
4.3.1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-	
4.3.2 喫煙の制御		3.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.1
1 機能性		3.3	0.40	3.8	1.00	3.4
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60	
1.1.1 広さ・収納性		3.0	-	5.0	1.00	
1.1.2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-	
1.1.3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	2.0	0.40	
1.2.1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50	
1.2.2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-	
1.2.3 内装計画		3.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-	
1.3.1 維持管理に配慮した設計	防かび、防菌性能に優れたクロスを使用	4.0	0.50	-	-	
1.3.2 維持管理用機能の確保	専用の汚物置場室を確保あり、各階に専用清掃流し設置あり	4.0	0.50	-	-	
1.3.3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.1	0.31	-	-	3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-	
2.1.1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2.1.2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.6	0.33	-	-	
2.2.1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-	
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	吹付け、タイル貼りを使用	4.0	0.23	-	-	
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-	
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-	
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔	硬質塩化ビニリング鋼管、耐衝撃性塩化ビニル管を使用	4.0	0.15	-	-	
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	耐用年数15年以上のポンプ、盤類を使用	4.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性			3.0	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	節水便器を使用	4.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	盤類を浸水の恐れが無い室内に設置	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			2.9	0.29	2.2	1.00	2.6
3.1 空間のゆとり			2.8	0.31	1.4	0.50	
1	階高のゆとり		2.0	0.60	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	共用部壁長さ比率 = 0.25	4.0	0.40	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.0
1 建物の熱負荷抑制			2.0	0.30	-	-	2.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		LED照明の採用、及び効率の良いエアコンの使用	4.2	0.30	-	-	4.2
		集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)	4.0		-	-	
		集合住宅の評価			-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.63	-	-	3.2
2.1	材料使用量の削減	強度の大きい躯体材量を使用	4.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生骨材の路盤材使用(舗装路盤) 集材材(建具枠)	4.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22	-	-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68	-	-	
1	消火剤	ABC粉末10型消火器の使用	4.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率 85%	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮			2.4	0.33	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.6	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	曇光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	